

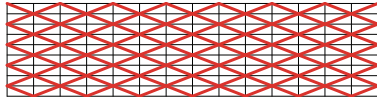
照明で和紙の特徴を知る ～八女伝統工芸館との共同開発～

14TH062 原 知輝

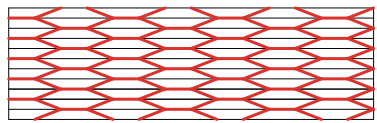
和紙の折り方の検討

教材を参考に折り方を検討

蛇腹折りで2つのパターンを図面にし、模型に合わせて大きさを決め、一周を三枚のわずかな隙間を作りつつ組み立てていきました



パターン1

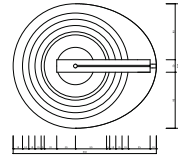


パターン2

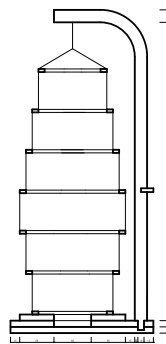


パターン2を採用し1/1のリングの模型に合わせて幅を決める

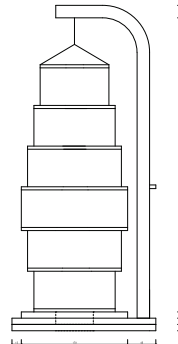
照明設計図面



全体図面 上図



全体図面 断面図



全体図面 正面図

S=1/2

完成した試作品

作成してもらったパーツを一部加工、組み立て、仕上げ

(あかり無しの写真)



(あかり有り 使用イメージ写真)

照明のあかりの変化

この照明は4パターンの伸縮ができるので寝室で休む時は縮め、読書や勉強をする時は伸ばすことで照明の明るさを変えることができる伸縮の操作は手動で糸を動かし、ダボで固定する。

照明のあかりの特徴

和紙の折りによって伸びている部分と伸びていない部分であかりの濃様が出来たり、各段に3か所ある隙間から強めの光が漏れ出す。各段の木製のリングが陰になり各段のあかりのアクセントになっている

2018年1月24～28日にアクロス福岡で行われる八女の伝統工芸品展にて、27日、28日の2日間展示予定です。

指導教員講評 この作品は、和紙の特徴である透光性・耐折性を活かした照明器具を提案することで、和紙の特徴を伝え、和紙の復興を目指した取り組みである。和紙の加工方法の一つである折りに着目し、シェードを伸縮させることで光量を制御できるデザインが工夫点として評価できる。また、八女民芸工芸館と詳細に打ち合わせを重ねた1年間の取り組みも評価できる。